

※要申込  
定員  
150名



# 気候変動の影響への 適応に関するセミナー

入場無料

～変化する気候に北海道が適応していくには～

2017年

12月15日(金)

13:10～16:20

ACU-A(アスティ45)16F大研修室1606

(札幌市中央区北4条西5丁目)

菅井 貴子氏：気象予報士  
【講演題】  
「気候変動最前線  
変わる北海道の天気」

一般社団法人札幌観光協会 齋藤 圭介氏  
【講演題】  
「札幌の観光イベントにおける気候変動の影響」

三重県地球温暖化対策課 西田 憲一氏  
【講演題】  
「三重県の気候変動影響と  
適応のあり方について」

## 気候変動の影響の「緩和」とは？

私たちは日々の暮らしの中で温室効果ガスを大量に排出しており、地球温暖化やそれに伴う気候変動が、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力（緩和）をしていくことが求められます。

## 影響への「適応」とは？

緩和を実施しても温暖化の影響が避けられない場合、その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことが、適応です。



※JR 札幌駅南口より徒歩5分

主催 環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、(公財)北海道環境財団(北海道地球温暖化防止活動推進センター)  
事務局 / 申込先 日本エヌ・ユー・エス株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル5階  
TEL:03-5925-6740 FAX:03-5925-6745  
E-Mail: adaptation-hokkaido@janus.co.jp (担当:橋爪、仲川)  
(E-Mail、FAX またはお電話にて、参加日付・所属・氏名・連絡先をお伝えください。)

# 講師プロフィール

## 菅井 貴子：気象予報士

横浜市生まれ。北海道大学教育学院にて「気候多様性に基づく北海道の地域活性化」にて修士取得。NHKキャスターを経て、UHB(北海道文化放送)「みんなのテレビ」に出演中。気象予報士・防災士・地球温暖化コミュニケーター等の資格を有する。毎日の予報業務の中でも、「昔に比べて、北海道の天気が変わってきた」を実感し環境やエネルギー問題に関する講演・出前授業・イベントなどにも参加している。北海道環境審議員としても活動をしている。



## 一般社団法人札幌観光協会

札幌市の観光行政推進のため1936年に設立。「さっぽろ雪まつり」では、1950年の第1回開催から、今日の様な国際的イベントとなるまで、運営主体として中心的役割を果たしてきている。観光イベントの創造や、観光プロモーション、国際化への取り組みなどで札幌市への観光客誘致に必要な事業に積極的に取り組んでいる。

## 三重県環境生活部地球温暖化対策課

三重県では、気候変動の影響への「適応」を推進するために、三重県における温暖化の現在の影響と、将来の予測を中心にとりまとめた報告書「三重県の気候変動影響と適応のあり方について」を作成した。本報告書で明らかになった影響の内容を基に、「適応」策の取組を進めている。

時間	内容
12:40	受付開始
13:10	開会挨拶
13:15	【講演】 「国の「気候変動の影響への適応計画」について」(仮題) 環境省北海道地方環境事務所 環境対策課 富田 和明氏
	【講演】 「気候変動最前線 変わる北海道の天気」 気象予報士 菅井 貴子氏
14:30	休憩
14:40	【講演】 「札幌の観光イベントにおける気候変動の影響」 一般社団法人 札幌観光協会 イベントグループ 齋藤 圭介氏
	【講演】 「三重県の気候変動影響と適応のあり方について」 三重県環境生活部地球温暖化対策課 課長補佐兼班長 西田 憲一氏
16:00	質疑応答
16:15	閉会挨拶

## お申込み用紙

※切らずにそのままFAXしてください。【12月15日(金)札幌開催】  
FAX 03-5925-6745 (申込締切 2017年12月12日(火))

※メールでの申し込みも可能です(アドレスは表面に記載)。メールの場合は、本文に直接以下の必要事項をご記入ください。

氏名(ふりがな)

所属

TEL

FAX

E-mail

定員に達してご参加頂けない場合、事務局よりご連絡をさせていただきます。  
ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する事のみ使用します。